

2021 年度 学生白書
第 4 回学生生活実態調査



奈良県立医科大学
Nara Medical University

奈良県立医科大学
学生支援委員会

も く じ

はじめに	2
本学の理念	3
調査票回収状況	4
A. 基本的な質問	5
B. 現在の学年の授業やカリキュラムの満足度に関する質問	7
I. 授業（講義・実習）に関すること	7
II. 課題（レポートや事前学習を含む）や時間割に関すること	10
III. 教員の対応などについて	12
IV. 大学内の環境について	14
V. ボランティア、部活動、アルバイトなどの課外活動について	16
VI. 大学生活の満足度について	17
C. 過去一年間の自己学習態度に関する質問	18
D. 自覚と目標と展望	24
自由記述による意見と課題	27
学生アメニティ整備実績（過去5年）	32

はじめに

本学における学生生活実態調査は 2010 年度に初回の調査が実施され、今回は 4 回目の調査となります。本調査の目的は医学科、看護学科学生の 1) 学生生活の実態、2) 学生の自覚的健康状態、3) 教育環境・学内環境に対する学生の認識や意見を明らかにすることによって、大学としての学生支援のあり方、教育・学内環境の改善のための具体的対策を立案実行するための基礎的資料を得ることです。

例年と違うことは、調査期間は新型コロナ感染流行中のために、教育や学生の生活環境が一変したことが第一に挙げられます。実際、クラブ活動の参加も前回の調査から医学科看護学科ではそれぞれ、78%→60%、67%→42%と低下しています。授業でもコロナ禍による遠隔授業の導入の影響が危惧されましたが、授業の満足度については医学科では満足・やや満足が対面で 77%、遠隔で 80%で両者に大差がなく、学生は変則的な授業についても柔軟に適応していることが伺えます。

また、大学生活に関する満足度でも医学科で 5 点以上が 72%、看護学科では 6 点以上が 72%と、両学科とも満足度は必ずしも低くない結果でした。

大学内の環境については、前回と同様に学生の満足度は低く、学生の視点にたった環境改善が望まれます。その他、自己学習態度の項目で、大学の授業以外の学習や取り組みに消極的な学生の割合が比較的高い結果でした。これは、新型コロナ流行の影響もあるかもしれませんが、学生の自己学習力の向上を図る対策も必要かと思えます。さらに、低学年ほど奈良医大に愛着があまりない、全くないと回答している学生が多い結果については、教員側としてしっかりと受け止めなければいけないと実感しています。今後、双方のコミュニケーションをはかりながら、より充実した教育の実践につなげる必要があります。

最後に、調査の実施や結果の分析を担当いただいた保健体育教育教授の石指宏通委員長をはじめとする学生支援委員会の委員の皆様には厚くお礼を申し上げます。また、アンケート調査に協力していただきました医学科看護学科の学生諸君に感謝いたします。

2022 年 3 月

医学部長 嶋 緑倫

本学の理念

本学は、医学、看護学およびこれらの関連領域で活躍できる人材を育成するとともに、国際的に通用する高度の研究と医療を通じて、医学および看護学の発展を図り、地域社会さらには広く人類の福祉に寄与することを理念する。

本学の教育の理念と方針

理念

豊かな人間性に基づいた高い倫理観と旺盛な科学的探究心を備え、患者・医療関係者、地域や海外の人々と温かい心で積極的に交流し、生涯にわたり最善の医療提供を実践し続けようとする強い意志を持った医療人の育成を目指します。

方針

1. 良き医療人育成プログラムの実践
2. 教員の教育能力開発と教育の質保証
3. 教育全般に関する外部有識者評価と学生参加の推進
4. 学習環境と教育環境の充実

調査概要

本学学生生活実態調査は 2010 年度に第 1 回目、2013 年度に第 2 回目、2016 年度に第 3 回目を実施し、2019 年には授業と学習環境と自己学習に関する調査のみ実施し、今回が第 4 回目となる。

中期計画に基づき、学生生活の実態、本学の教育環境・学内環境に対する学生の認識・意見など実態を把握し、学生生活の一層の向上及び就学上の指導、大学としての学生支援の在り方、教育・学内環境の改善の方向性と具体的対策を立案実行するための基礎的資料を得ることを目的としている。

調査票回収状況

調査期間

2021年11月2日（火）～12月31日（金）

調査方法

調査は教務システムアンケート機能を利用して実施

調査対象

在籍している全学部生（休学者含む）

回収状況

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
医 学 科	対象者数	118	124	112	112	100	116	682
	回収数	110	114	103	102	87	75	591
	回収率	93%	92%	92%	91%	87%	65%	87%
看 護 学 科	対象者数	85	85	85	85	—	—	340
	回収数	75	75	72	80	—	—	302
	回収率	88%	88%	85%	94%	—	—	89%

調査項目

- A. 基本的な質問
- B. 現在の学年の授業やカリキュラムの満足度に関する質問
- C. 過去一年間の自己学習態度に関する質問
- D. その他自由意見記入

A. 基本的な質問

I. 性別、II. 学年を教えてください

医学科

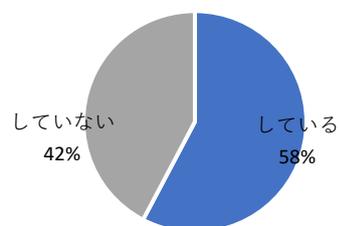
	回答者数		
	男子	女子	合計
1年	81	29	110
2年	75	39	114
3年	77	26	103
4年	74	28	102
5年	57	30	87
6年	53	22	75
計	417	174	591

看護学科

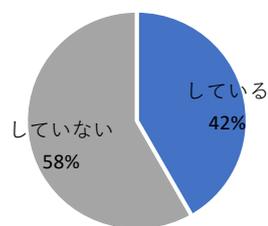
	回答者数		
	男子	女子	合計
1年	6	69	75
2年	3	72	75
3年	2	70	72
4年	4	76	80
計	15	287	302

III. あなたは定期的（週1回以上）にクラブ活動をしていますか

医学科



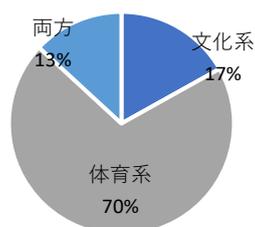
看護学科



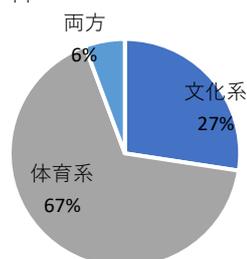
クラブに所属している方へ質問です

①所属は文化系ですか、体育会系ですか

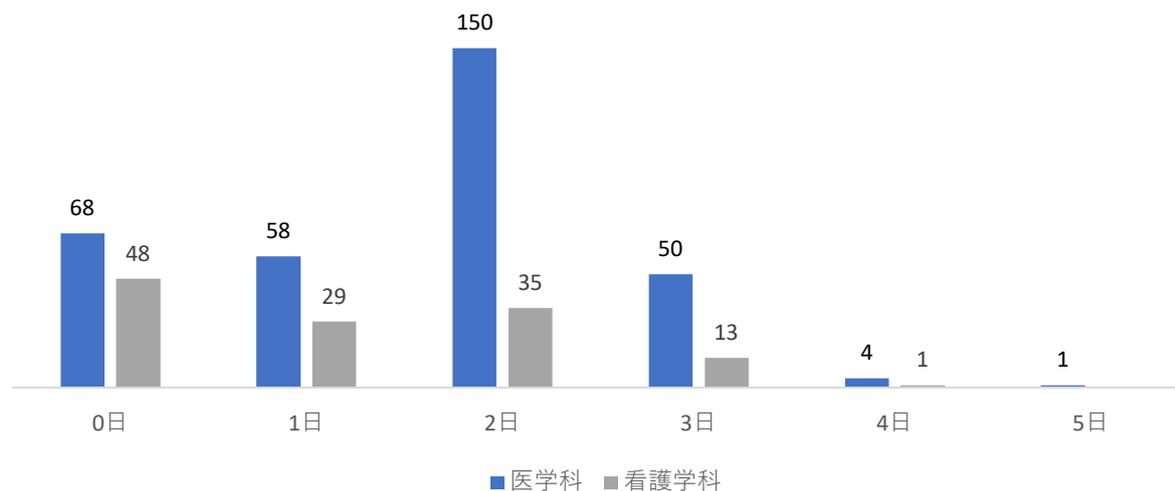
医学科



看護学科

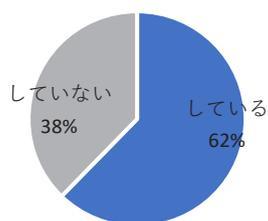


②クラブ活動へのあなたの参加頻度は週に何日程度ですか

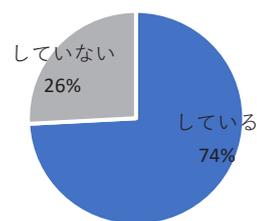


IV. あなたはアルバイトを定期的（週1回以上）にしていますか

医学科

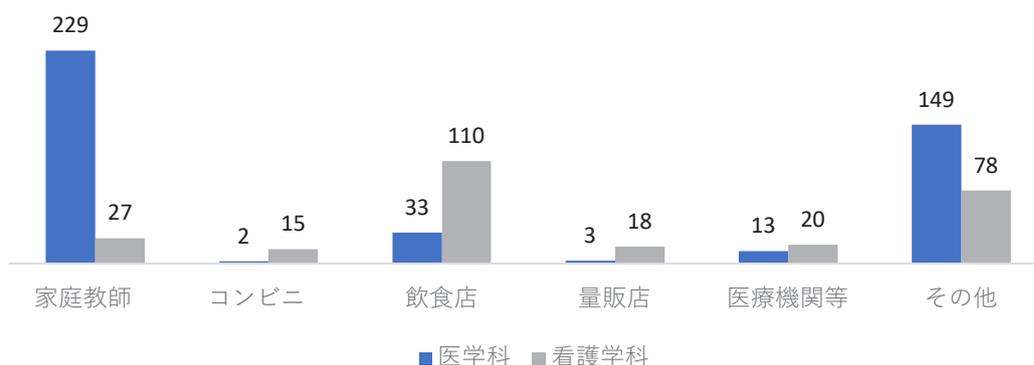


看護学科

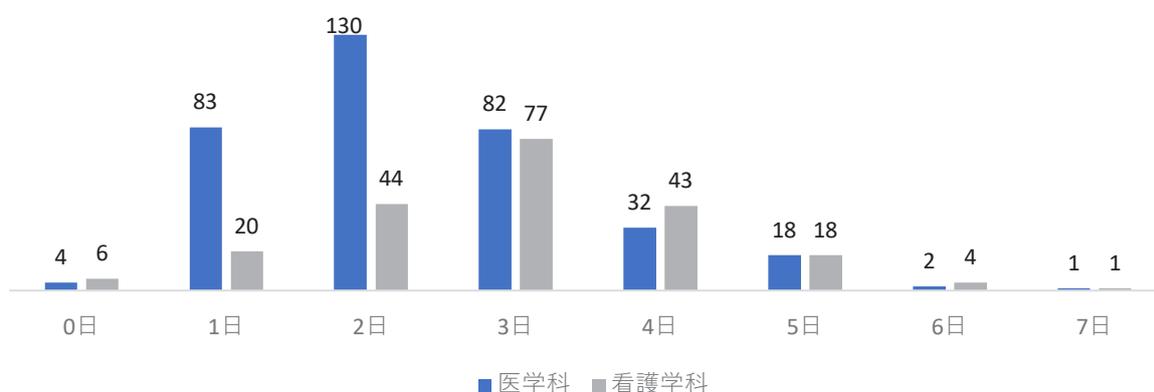


アルバイトをしている方へ質問です

①アルバイトの主な内容について教えてください



②アルバイトの頻度は週に何日程度ですか



基本的な質問の分析

医学科

クラブ活動の参加については、コロナ禍の影響があり参加率が約60%にとどまっていた。これは、前回の調査の約80%より20%も減少していた。所属クラブは体育会系が70%で前回の調査と同様の結果であった。

アルバイトについては、約60%の学生が何らかのアルバイトをしているが、これも前回の調査では約70%であり10%減少していた。アルバイトの内容については、家庭教師が最も多く、次いで飲食店であった。

看護学科

クラブ活動への参加は42%で、2016年調査と今回を比較すると、参加度が低下している。コロナ感染症による部活の制限の影響を受け、2年間新入生を勧誘していない影響がみられる。

アルバイトをしているのは74%で、2016年調査時から低下している。これも大学から学生に対して、家庭教師を含めて対人サービスを伴うアルバイトの自粛を要請している結果と思われる。

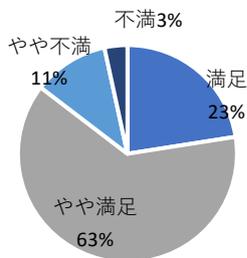
B. 現在の学年の授業やカリキュラムの満足度に関する質問

I. 授業（講義・実習）に関すること

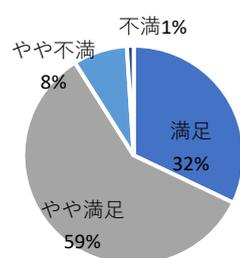
質問項目	医学科				看護学科			
	満足	やや満足	やや不満	不満	満足	やや満足	やや不満	不満
1. 授業科目の種類	133	372	66	20	97	178	24	3
2. 講義内容の実習への活用可能性	117	364	94	16	71	198	34	2
3. 履修すべき時間数や単位数	109	339	110	33	85	192	32	3
4. 単位認定の基準	82	294	146	69	96	195	20	2
5. 内容に見合った授業の進め方（対面授業）	99	354	108	30	64	200	35	3
6. 内容に見合った授業の進め方（遠隔授業）	130	346	93	22	60	200	39	3
7. 履修科目の理解度に対する配慮（対面授業）	89	346	118	38	56	205	37	4
8. 履修科目の理解度に対する配慮（遠隔授業）	99	322	132	38	57	188	53	4
9. 授業の終了時期と試験開始時期の間隔	95	258	150	88	50	174	70	8
10. 海外研修先の選択肢	94	343	89	65	51	192	38	21
11. 対面授業の実施方法	88	318	129	56	69	165	58	10
12. 遠隔授業の実施方法	157	352	59	23	88	165	42	7
13. 対面授業と遠隔授業の割合	89	307	136	59	83	158	45	16

1. 授業科目の種類

医学科

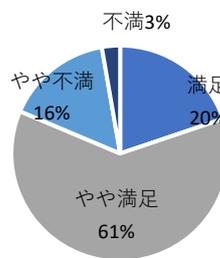


看護学科

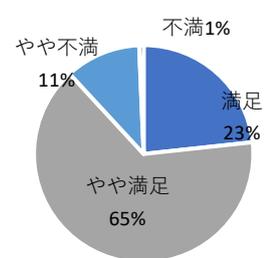


2. 講義内容の実習への活用可能性

医学科

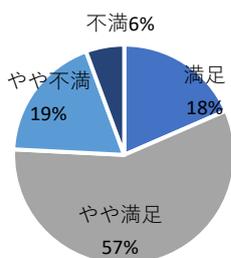


看護学科

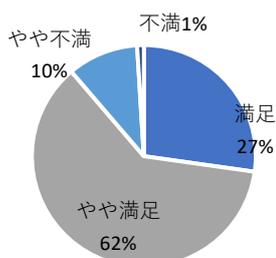


3. 履修すべき時間数や単位数

医学科

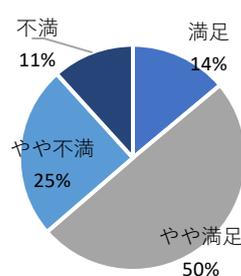


看護学科

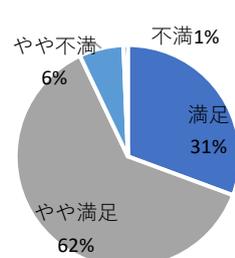


4. 単位認定の基準

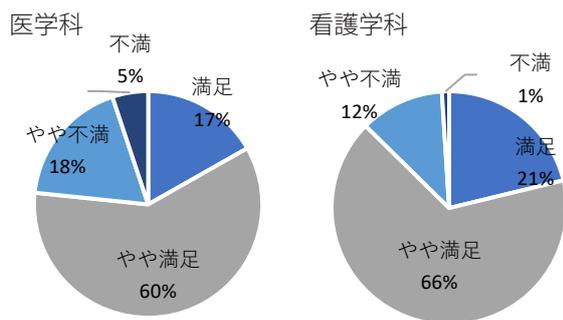
医学科



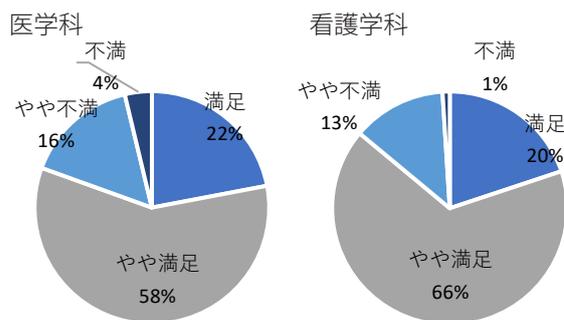
看護学科



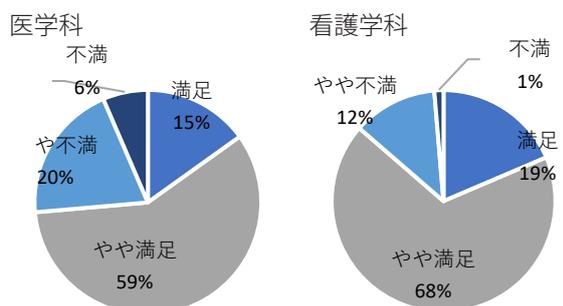
5. 内容に見合った授業の進め方（対面授業）



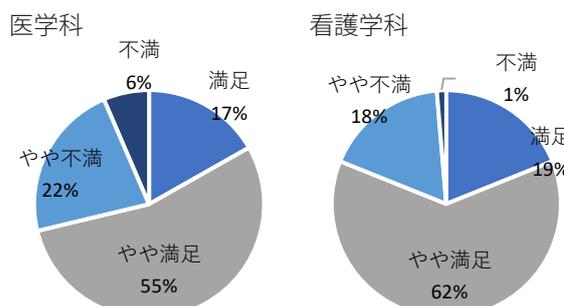
6. 内容に見合った授業の進め方（遠隔授業）



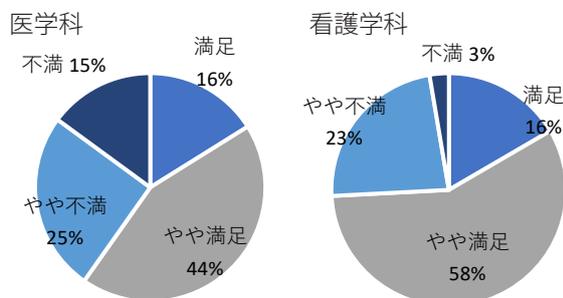
7. 履修科目の理解度に対する配慮（対面授業）



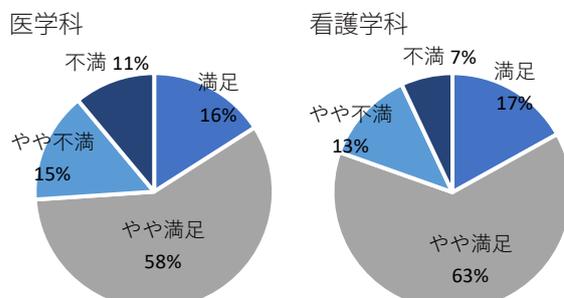
8. 履修科目の理解度に対する配慮（遠隔授業）



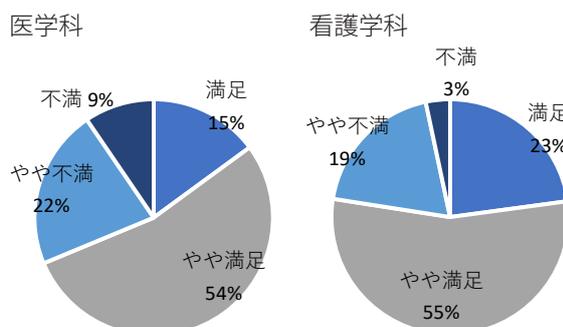
9. 授業の終了時期と試験開始時期の間隔



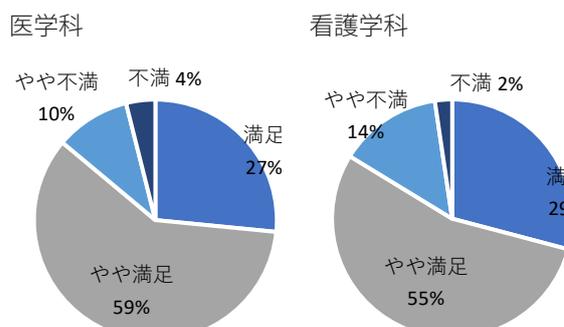
10. 海外研修先の選択肢



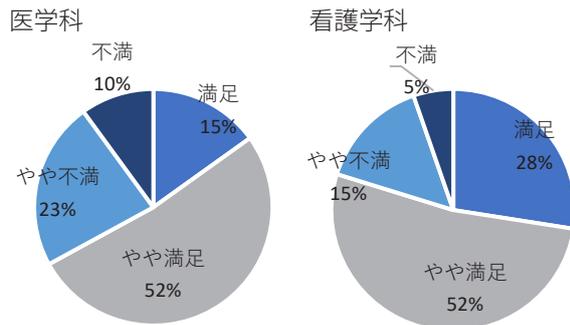
11. 対面授業の実施方法



12. 遠隔授業の実施方法



13. 対面授業と遠隔授業の割合



授業（講義・実習）に関することの分析

医学科

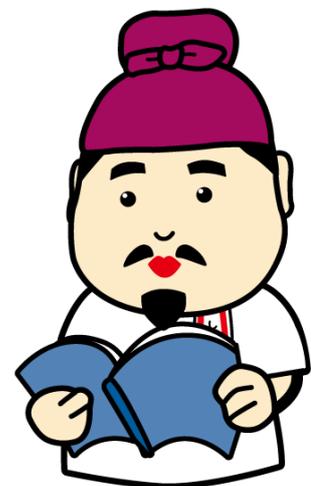
授業の満足度に関しては、「満足・やや満足」が対面授業で77%、遠隔授業で80%と比較的満足度は高く、対面授業と遠隔授業で満足度に違いは見られなかった。

授業の進め方に関しても、対面授業で77%、遠隔授業で80%と比較的満足度は高く、対面授業と遠隔授業で満足度に違いは見られなかった。

看護学科

授業やカリキュラムの満足度に関する13の質問に対する満足度の平均は83.7%であった。最も満足度が高かったのは、「単位認定の基準」の93%であり、最も低かったのは「授業の終了時期と試験開始の間隔」の74%であった。

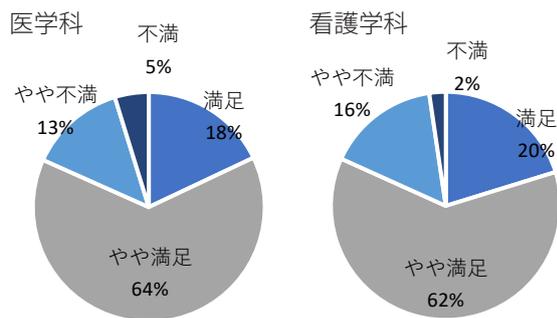
コロナ感染症対策のために変則的な授業形態を強いられている現状に対して、学生は一定の理解と適応を示していると読み取れる。



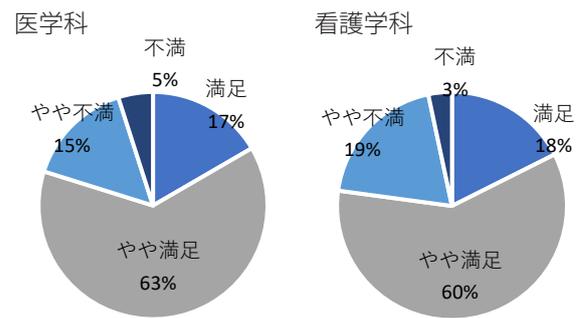
II. 課題（レポートや事前学習を含む）や時間割に関すること

質問項目	医学科				看護学科			
	満足	やや満足	やや不満	不満	満足	やや満足	やや不満	不満
14. 課題の難易度（対面授業）	106	377	80	28	61	186	48	7
15. 課題の難易度（遠隔授業）	98	374	90	29	53	180	59	10
16. 課題の提出様式（手書きなど）（対面授業）	122	356	75	38	55	176	64	7
17. 課題の提出様式（手書きなど）（遠隔授業）	133	353	71	34	62	175	54	11
18. 時間割の配置（偏りや集中など）	81	320	139	51	41	157	73	31
19. 課題の量と提出までの期間（対面授業）	103	360	97	31	39	170	71	22
20. 課題の量と提出までの期間（遠隔授業）	102	364	91	34	39	173	65	25
21. 課題と課外活動の両立	87	363	87	54	51	171	62	18
22. 授業科目の学年配置のバランス	95	353	99	44	57	197	38	10
23. カリキュラムの構成	84	355	106	46	70	195	33	4
24. 夏休みなどの長期休暇の時期と長さ	66	188	171	166	65	159	53	25

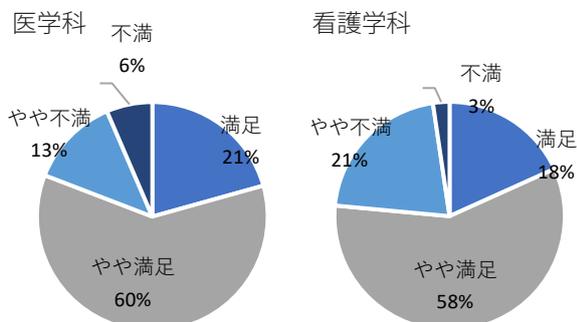
14. 課題の難易度（対面授業）



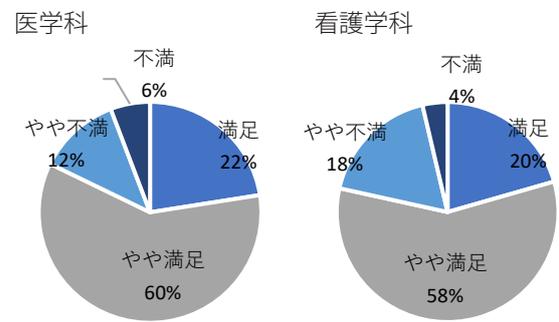
15. 課題の難易度（遠隔授業）



16. 課題の提出様式（手書きなど）（対面授業）

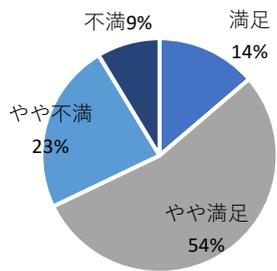


17. 課題の提出様式（手書きなど）（遠隔授業）

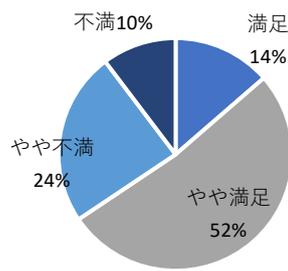


18. 時間割の配置（偏りや集中など）

医学科

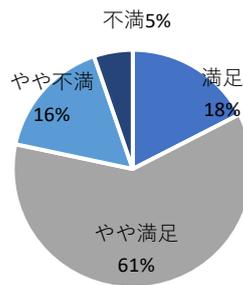


看護学科

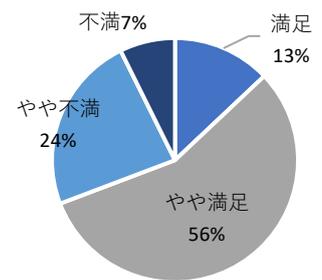


19. 課題の量と提出までの期間（対面授業）

医学科

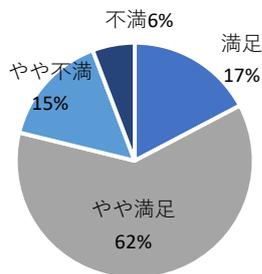


看護学科

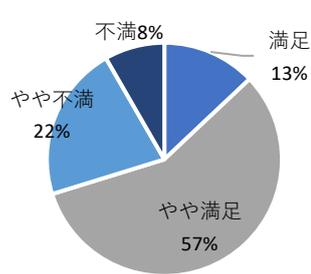


20. 課題の量と提出までの期間（遠隔授業）

医学科

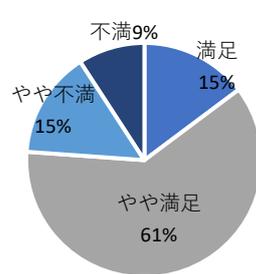


看護学科

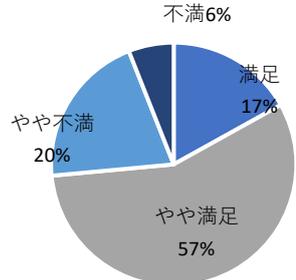


21. 課題と課外活動の両立

医学科

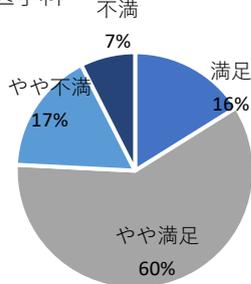


看護学科

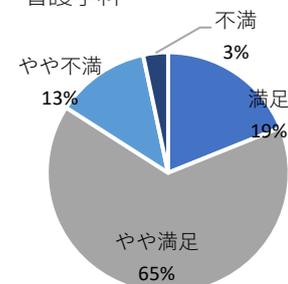


22. 授業科目の学年配置のバランス

医学科

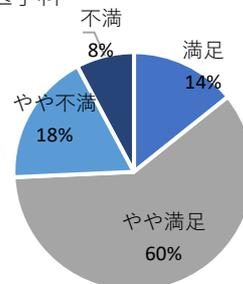


看護学科

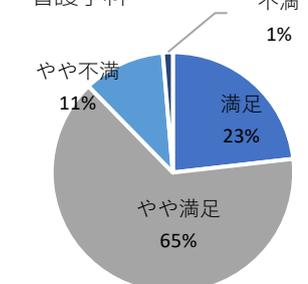


23. カリキュラムの構成

医学科

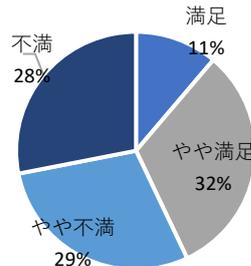


看護学科

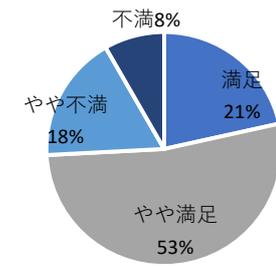


24. 夏休みなどの長期休暇の時期と長さ

医学科



看護学科



課題（レポートや事前学習を含む）や時間割に関することの分析

医学科

課題や時間割に関する 11 の質問項目の満足度（満足、やや満足）の平均は 74.4%であり、概ねの項目で 80%前後であったが、時間割の配慮（67.9%）、長期休暇の時期と長さ（43.0%）の満足度が低かった。

課題の難易度や量、提出までの期間の項目で対面・遠隔での差は見られなかった。

看護学科

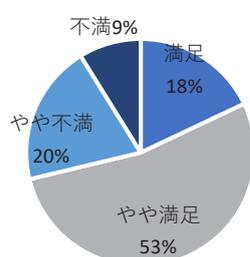
課題や時間割に関する 11 の質問項目の満足度（満足とやや満足の合計）の平均は 76.3%であった。満足度の高い項目は「カリキュラムの構成」の 88%、「授業科目の学年配当のバランス」84%で、満足度の低い項目は「時間割の偏りや集中」が 66%、「課題の量と提出までの期間（対面授業）」が 69%であった。

Ⅲ. 教員の対応などについて

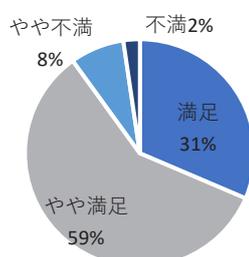
質問項目	医学科				看護学科			
	満足	やや満足	やや不満	不満	満足	やや満足	やや不満	不満
25. 成績評価の公平性	106	315	118	52	95	177	23	7
26. 学生対応の統一性	114	349	89	39	84	177	34	7
27. 学生からの依頼や意見への対応	92	317	122	60	68	185	42	7
28. 学生に対する励まし	78	321	132	60	64	185	47	6
29. 教員による細やかな指導	83	318	122	68	67	146	62	27
30. 学生の意見の尊重	73	276	151	91	54	190	46	12

25. 成績評価の公平性

医学科

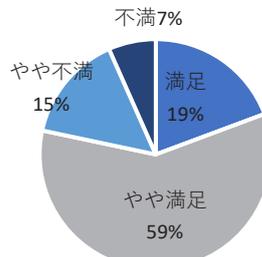


看護学科

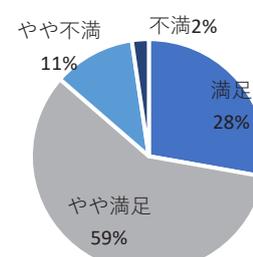


26. 学生対応の統一性

医学科

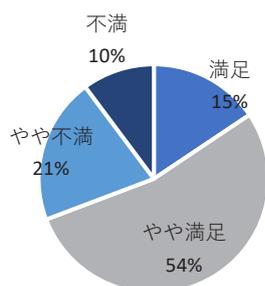


看護学科

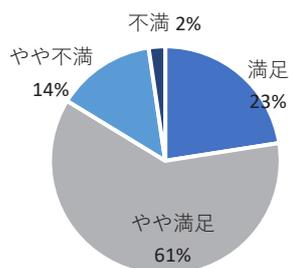


27. 学生からの依頼や意見への対応

医学科

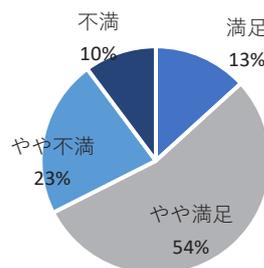


看護学科

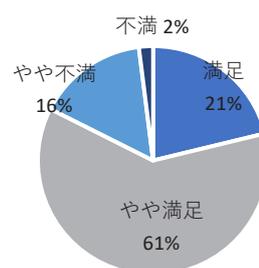


28. 学生に対する励まし

医学科

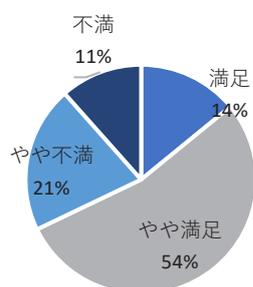


看護学科

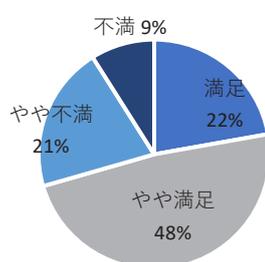


29. 教員による細やかな指導

医学科

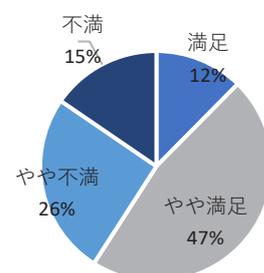


看護学科

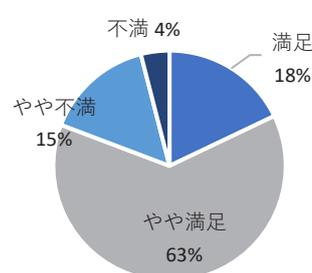


30. 学生の意見の尊重

医学科



看護学科



教員の対応などについて分析

医学科

教員の対応に関しては、「成績評価の公平性」、「学生対応の統一性」、「学生からの意見の対応」で「満足・やや満足」が7割だったが約3割の学生は満足していない結果であった。

また、「学生に対する励まし」、「細やかな指導」で「満足・やや満足」が約7割だったが、これも同様に約3割の学生が満足していない結果であった。

看護学科

教員の対応についての6項目の満足度（満足・やや満足）の平均値は82.3%であった。成績評価の公平性（90%）、学生対応の統一性（87%）の満足度が高く、最も低かったのは学生に対する細やかな指導（アドバイザー対応）70%であった。

IV. 大学内の環境について

質問項目	医学科				看護学科			
	満足	やや満足	やや不満	不満	満足	やや満足	やや不満	不満
31. 教室の空調管理	76	211	172	132	30	120	98	54
32. 図書館の開館時間と開館時期	147	214	63	52	107	119	13	6
33. 学内の Wi-Fi 環境の利用エリア	93	206	156	107	73	100	62	28
34. 学外から利用可能な文献検索システム	126	364	72	29	66	186	38	12
35. トイレや洗面所の清潔保持	55	156	159	221	48	111	73	70
36. 職員・学生食堂の利便性	59	172	93	110	18	41	24	46
37. 自習室の使いやすさ（最終学年のみ回答）	26	34	8	3	5	32	6	2

Q.32・33・36・37 は別途「利用しない」を選択肢に追加した。

それぞれの回答は以下のとおり

Q32. 医学科 115 名、看護学科 57 名

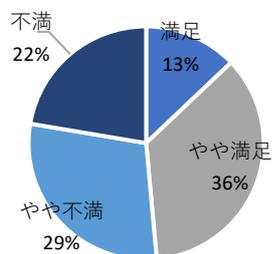
Q33. 医学科 29 名、看護学科 39 名

Q36. 医学科 157 名、看護学科 173 名

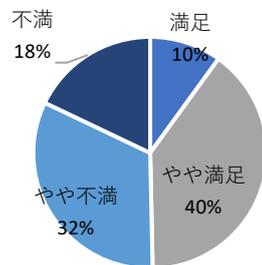
Q37. 医学科 3 名、看護学科 33 名

31. 教室の空調管理

医学科

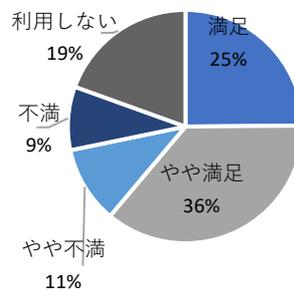


看護学科

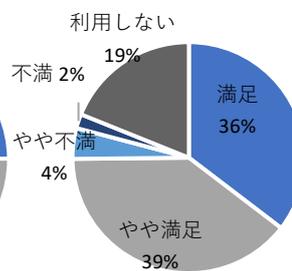


32. 図書館の開館時間と開館時期

医学科

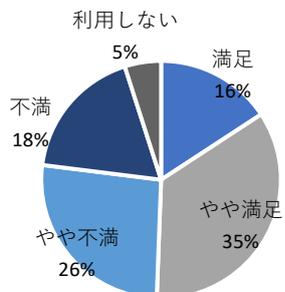


看護学科

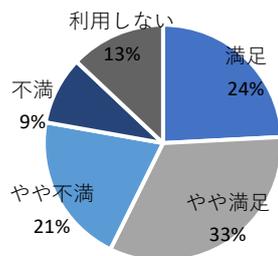


33. 学内の Wi-Fi 環境の利用エリア

医学科

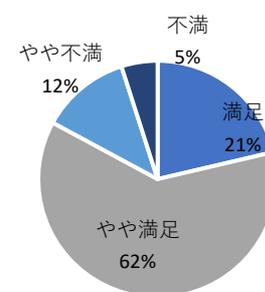


看護学科

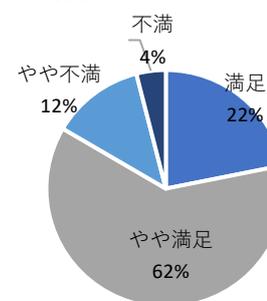


34. 学外から利用可能な文献検索システム

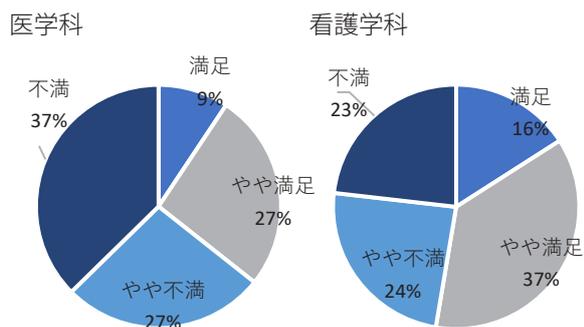
医学科



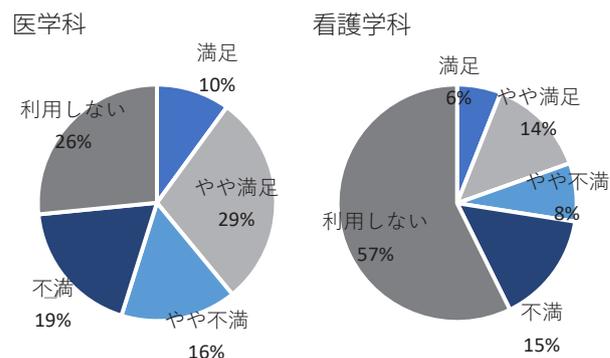
看護学科



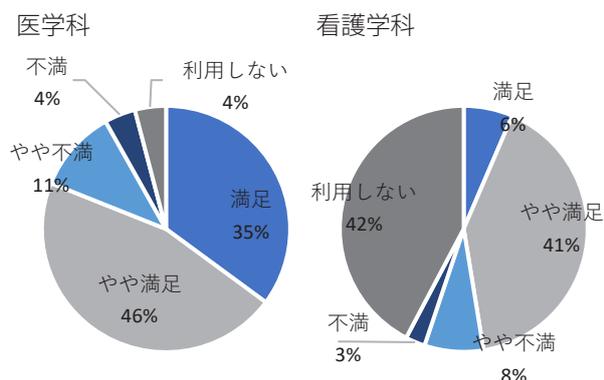
35. トイレや洗面所の清潔保持



36. 職員・学生食堂の利便性



37. 自習室の使いやすさ（最終学年のみ回答）



大学内の環境について分析

医学科

大学内の環境の満足度に関しては、教室の空調で満足度は49%と低かった。

図書館の開閉時間においては、そもそも図書館を利用しない学生が約20%存在したが、満足度は約61%であった。Wi-Fiの利用エリアについては約半数の学生が満足しているが、Wi-Fiがとぎれやすいといった意見が多数聞かれた。

トイレや洗面所の清潔保持については約3割、食堂の利便性については約4割の学生しか満足しておらず、満足度が低い結果となった。トイレに関する意見として、とくに基礎医学棟のトイレの悪臭について多数の意見が聞かれた。食堂に関する自由意見として、食堂を開放して欲しい、学生用の食堂が欲しい、メニューを増やして欲しいといった意見が聞かれた。

自習室に関しては、6年生の満足度は高く、約8割の学生が「満足・やや満足」と回答している。

看護学科

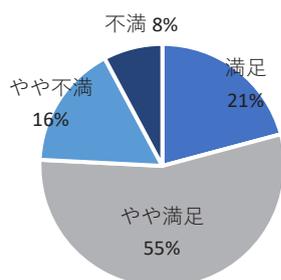
大学内の環境についての7項目の満足度の平均は55.1%であった。「学外から利用可能な文献検索システム」が84%と満足度が高かったが、「職員・学生食堂の利便性」が20%、「自習室の使いやすさ」47%、「トイレや洗面所の清潔保持」が53%、の順で満足度が低かった。病院内にある食堂は、コロナ感染症対策に伴い、この2年間、学生が利用できない状況にある。同じく自習室も厳しい人数制限をしていることが原因と思われる。トイレの整備は校舎によって差があり、自由記載にも多くの記載があったことから環境改善が望まれる。

V. ボランティア、部活動、アルバイトなどの課外活動について

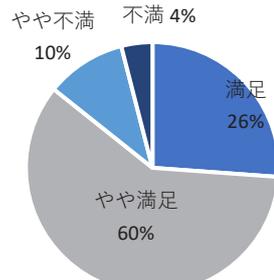
質 問 項 目	医学科				看護学科			
	満足	やや満足	やや不満	不満	満足	やや満足	やや不満	不満
38. 課外活動の活動内容	123	325	97	46	79	180	31	12
39. 課外活動で多くの人との出会いや交流	125	302	113	51	75	161	52	14
40. 課外活動の人間関係	148	329	79	35	96	164	32	10

38. 課外活動の活動内容

医学科

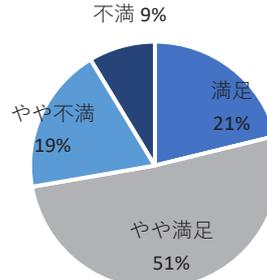


看護学科

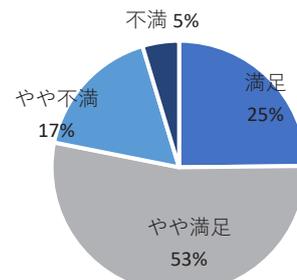


39. 課外活動で多くの人との出会いや交流

医学科

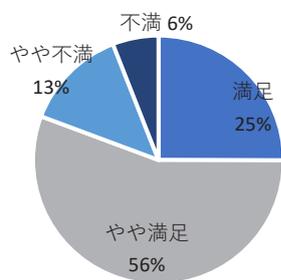


看護学科

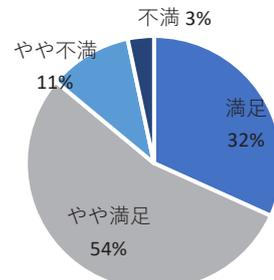


40. 課外活動の人間関係

医学科



看護学科



ボランティア、部活動、アルバイトなどの課外活動について分析

医学科

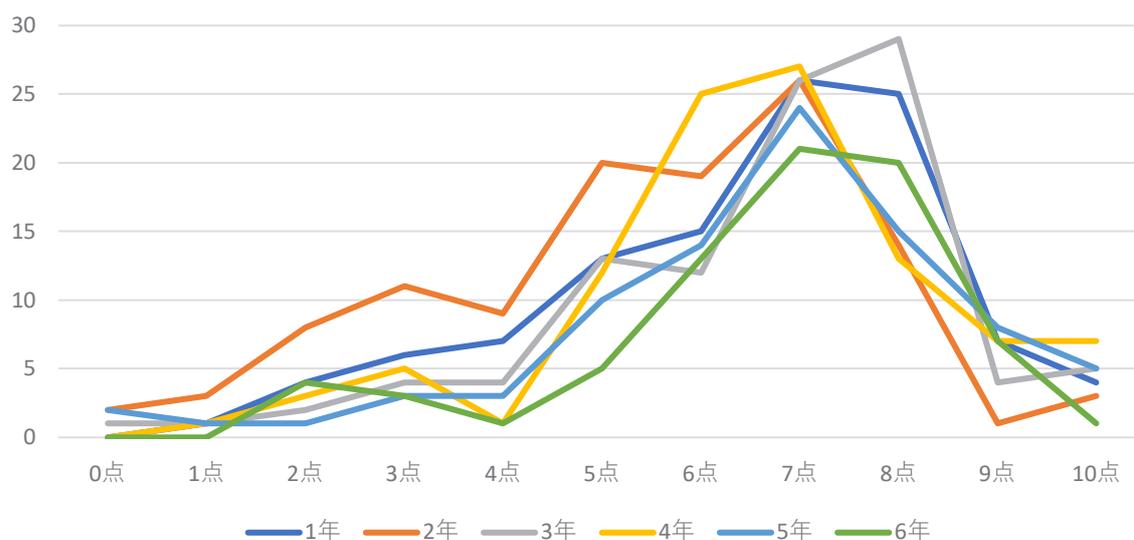
課外活動の満足度（満足・やや満足）は75%程度と比較的高かった。

看護学科

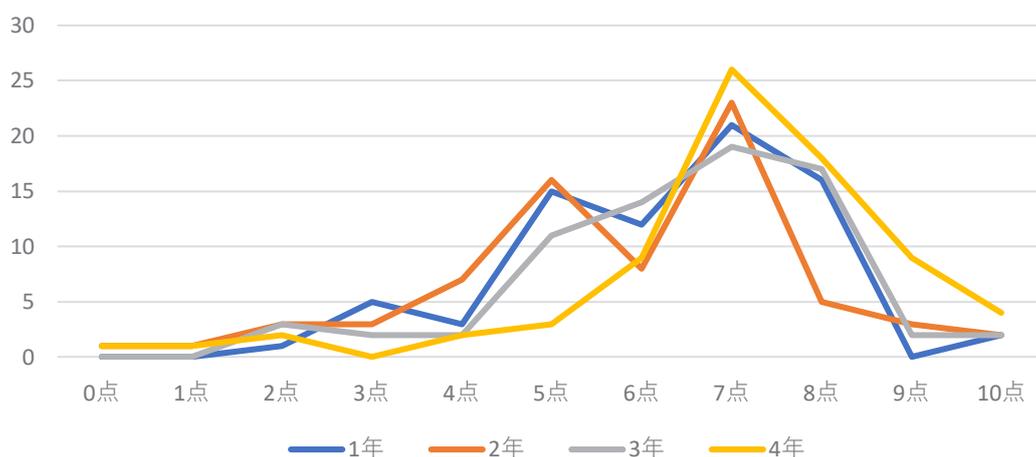
課外活動の内容、課外活動での出会いや交流、人間関係の満足度は平均83%と高かった。

VI. あなたは、大学生生活について、現在どの程度満足していますか。

医学科



看護学科



大学生生活満足度について分析

医学科

大学生生活の満足度に関しては、10点満点で10点が4%、9点が6%、8点が20%、7点が25%となっており、5点以下は28%であった。5点以下の割合は学年がすすむにつれて低下する傾向がある。個別の学年を見てみると、2年生で5点以下の割合が男子で52%、女子で36%と他の学年と比較して多かった。

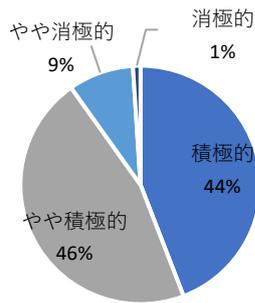
看護学科

大学生生活の満足度は7点89人(30%)、8点56人(19%)、5点45人(15%)、6点43人(15%)の順であり、6点以上の合計は72%であった。2016年の前回調査では「看護学生であること」に満足が69%、「奈良医大の学生であること」に満足が61%、「奈良医大に入学して」満足が63%であり、調査項目の表現は違うために単純に比較はできないが、コロナ禍の厳しい学習環境を考慮すると72%の満足度は高いと思われる。

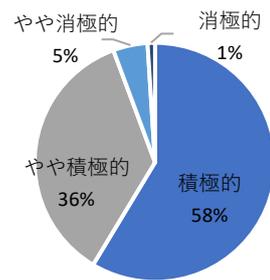
C. 過去一年間の自己学習態度に関する質問

質問項目	医学科				看護学科			
	熱心	やや熱心	やや不熱心	不熱心	熱心	やや熱心	やや不熱心	不熱心
1. 授業（講義・実習・TBL）に出席すること	261	272	52	6	177	108	14	3
2. 授業（講義・実習・TBL）配布資料を使つての自己学習	146	296	120	29	80	155	57	10
3. 授業（講義・実習・TBL）を効果的に受けるため、座る位置の工夫	112	206	163	110	66	103	68	65
4. 同級生の学習方法・学習の進み具合を参考にした学習	174	291	96	30	87	155	49	11
5. 単位取得、進級、卒業のための学習	286	244	53	8	152	134	14	2
6. 先輩からの試験情報を学習に活かすこと	182	271	102	36	125	127	35	15
7. 過去問や自分たちで作つたプリントやノートを使った学習	235	277	68	11	134	136	24	8
8. 教科書・参考図書を使った学習	174	270	125	22	103	141	43	15
9. 国家試験のための模擬試験の受験及び国家試験の合格を意識した学習	113	191	128	159	42	94	87	79
10. 医師・看護師に必要な専門知識を得るための学習	145	261	105	80	77	164	47	14
11. 医師・看護師に必要な専門技術を習得するための学習	115	247	131	98	85	151	55	11
12. 授業以外で、医学・看護学や医療の研究に触れる機会を経験すること	114	172	165	140	34	78	93	97
13. 授業以外で、医療現場や福祉現場に触れる機会を持つこと	80	175	168	168	32	69	107	94
14. 専門領域以外の科目の学習	100	206	175	110	45	107	93	57
15. 医療・福祉に関する授業以外のセミナーなどへの参加	69	137	151	234	26	49	51	176
16. 夏休みなどの長期休暇を利用した普段出来ないような自由な学習	108	190	160	133	30	68	93	111
17. 自分の人生観を広げる機会を持つこと	168	229	135	59	63	111	80	48
18. チームワークやリーダーシップの大切さを実感できる機会を持つこと	145	213	153	80	66	123	68	45
19. グループ学習（実習・演習・実験・TBL）で主体性を持つこと	137	268	137	49	95	154	39	14
20. 礼儀やマナーを身につける経験を持つこと	193	282	82	34	124	138	29	11
21. さまざまな機会に人に教える役割を経験すること	177	262	108	44	75	123	56	48
22. コミュニケーションの大切さを実感できる機会を持つこと	217	261	81	32	125	135	28	14
23. 人としての幅広い教養を身につけること	184	275	103	29	88	150	45	19
24. 体力や忍耐力を養うこと	178	254	109	50	87	135	49	31
25. 医学・看護学、医療に興味を持つこと	191	278	89	33	104	131	51	16
26. 理想的な医師像・看護師像を描くこと	171	276	102	42	79	135	65	23
27. 学習を通じて達成感を得ること	160	289	96	46	84	146	58	14
28. 授業を通じて知識に自信を持つこと	136	276	129	50	68	137	78	19
29. 課外活動（ボランティア・部活動・アルバイト等）を通じて達成感を得ること	174	234	112	71	111	128	30	33
30. 医師・看護師に必要な倫理観を養うこと	181	293	89	28	96	146	46	14
31. 実習などを通じて看護技術に自信を持つこと	—	—	—	—	90	155	39	18

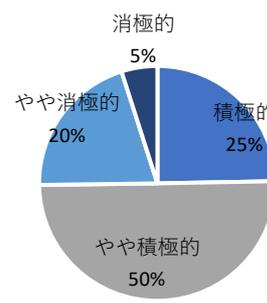
1. 授業（講義・実習・TBL）に出席すること
医学科



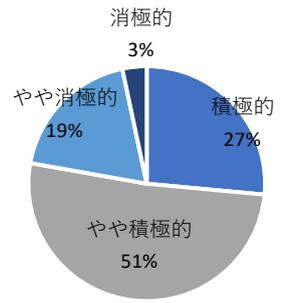
看護学科



2. 授業（講義・実習・TBL）配布資料を使つての自己学習
医学科

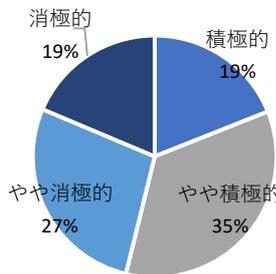


看護学科

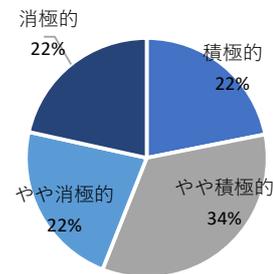


3. 授業（講義・実習・TBL）を効果的に受けるため、座る位置の工夫

医学科

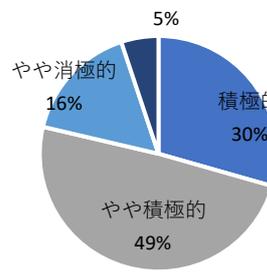


看護学科

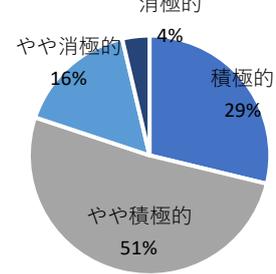


4. 同級生の学習方法・学習の進み具合を参考にした学習

医学科

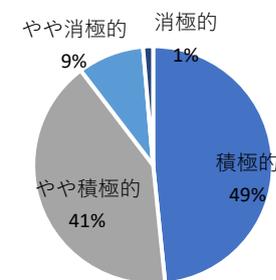


看護学科

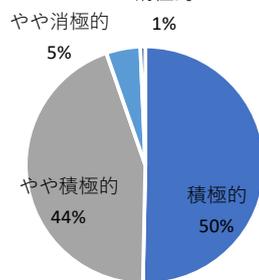


5. 単位取得、進級、卒業のための学習

医学科

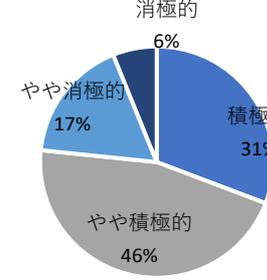


看護学科

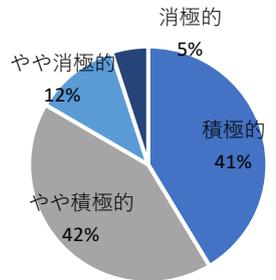


6. 先輩からの試験情報を学習に活かすこと

医学科

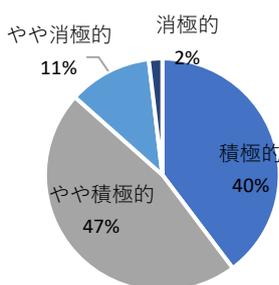


看護学科

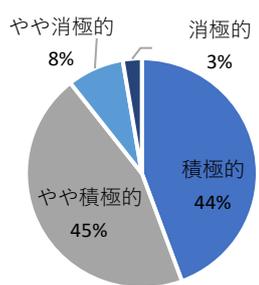


7. 過去問や自分たちで作ったプリントやノートを使った学習

医学科

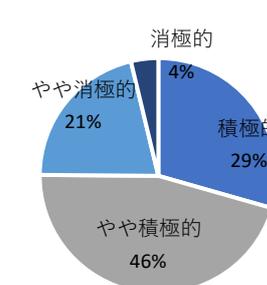


看護学科

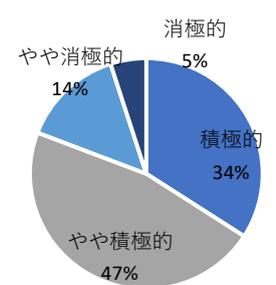


8. 教科書・参考図書を使った学習

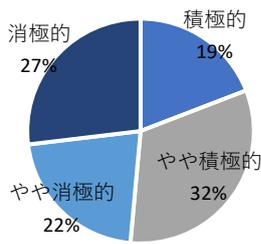
医学科



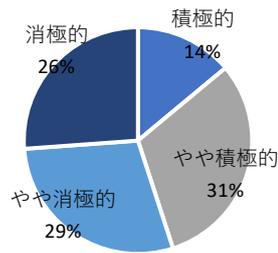
看護学科



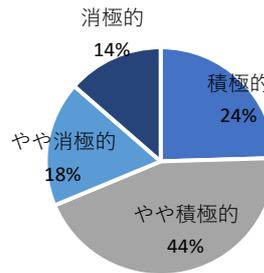
9. 国家試験のための模擬試験の受験及び国家試験の合格を意識した学習
医学科



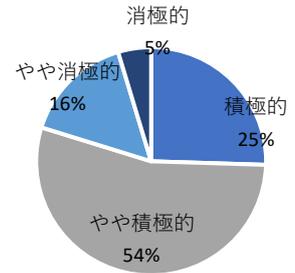
看護学科



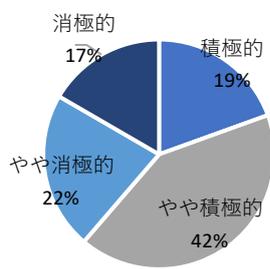
10. 医師・看護師に必要な専門知識を得るための学習
医学科



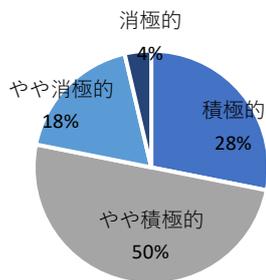
看護学科



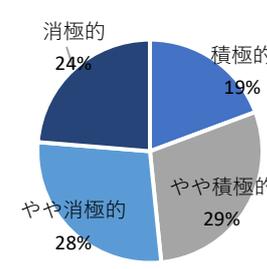
11. 医師・看護師に必要な専門技術を習得するための学習
医学科



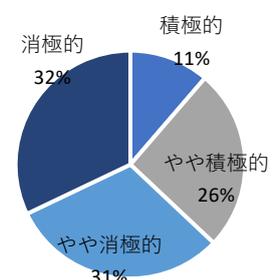
看護学科



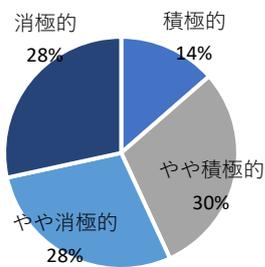
12. 授業以外で、医学・看護学や医療の研究に触れる機会を経験すること
医学科



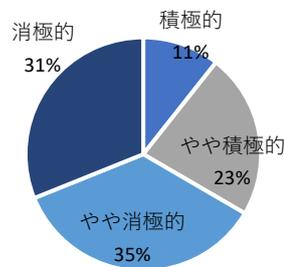
看護学科



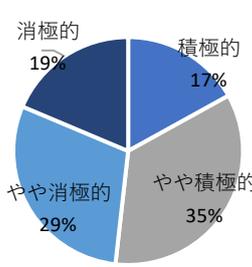
13. 授業以外で、医療現場や福祉現場に触れる機会を持つこと
医学科



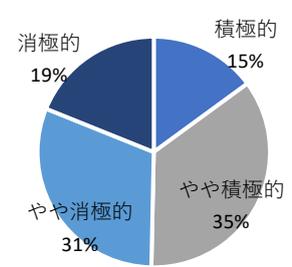
看護学科



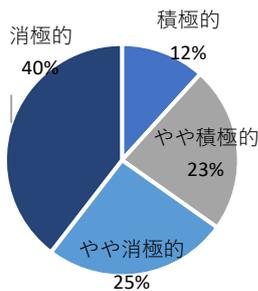
14. 専門領域以外の科目の学習
医学科



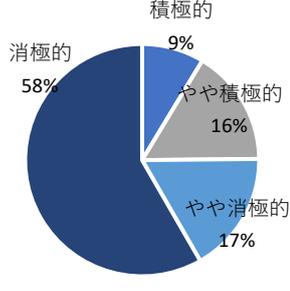
看護学科



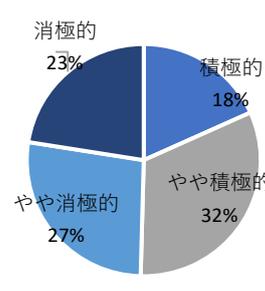
15. 医療・福祉に関する授業以外のセミナーなどへの参加
医学科



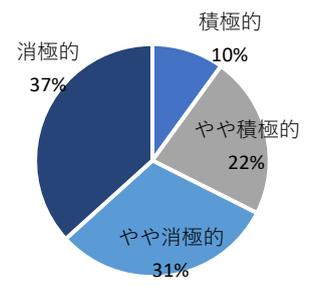
看護学科



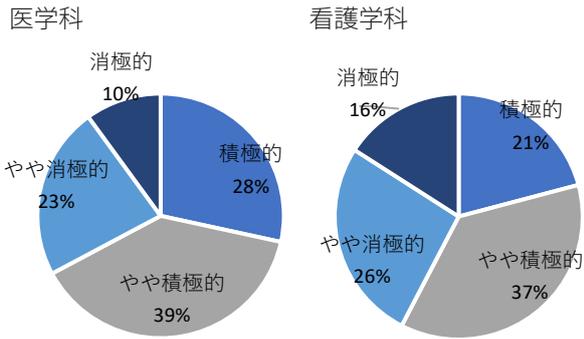
16. 夏休みなどの長期休暇を利用した普段出来ないような自由な学習
医学科



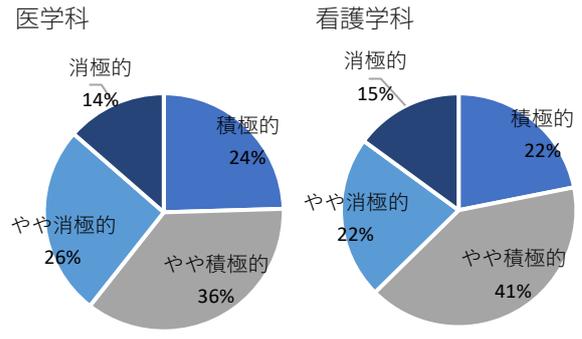
看護学科



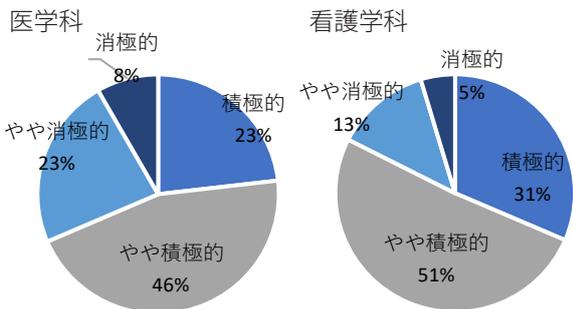
17. 自分の人生観を広げる機会を持つこと



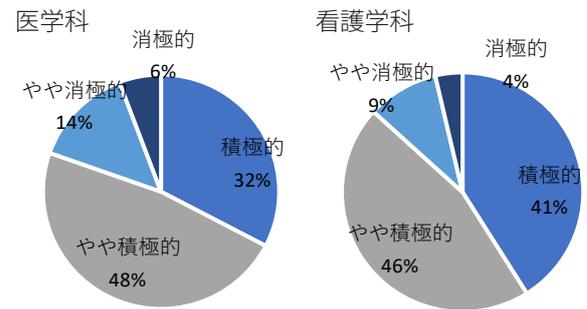
18. チームワークやリーダーシップの大切さを実感できる機会を持つこと



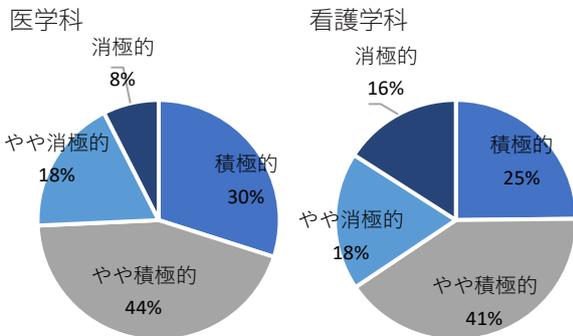
19. グループ学習（実習・演習・実験・TBL）で主体性を持つこと



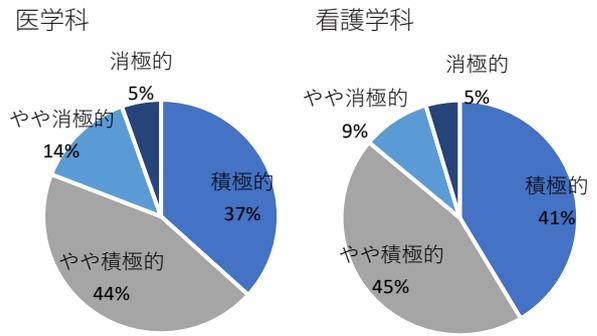
20. 礼儀やマナーを身につける経験を持つこと



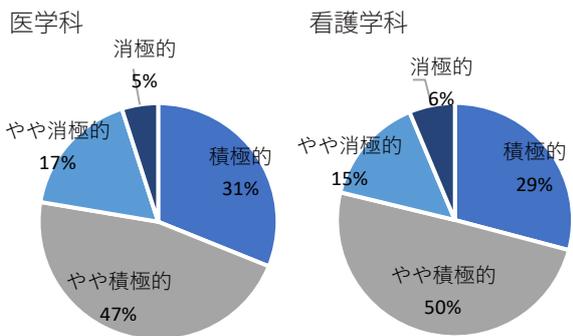
21. さまざまな機会に人に教える役割を経験すること



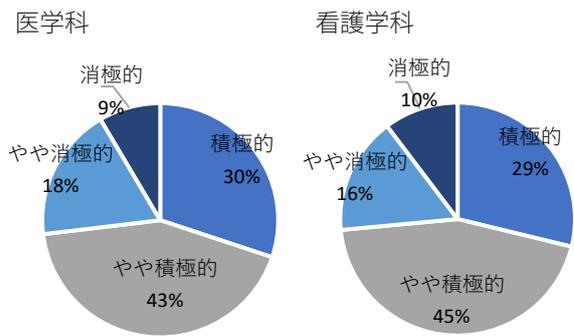
22. コミュニケーションの大切さを実感できる機会を持つこと



23. 人としての幅広い教養を身につけること

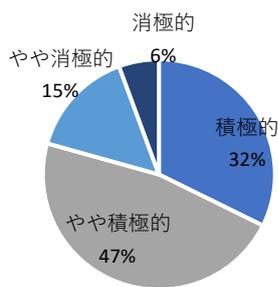


24. 体力や忍耐力を養うこと

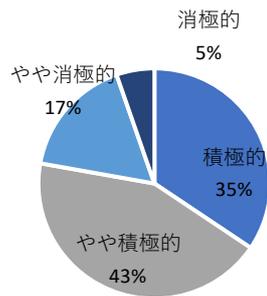


25. 医学・看護学、医療に興味を持つこと

医学科

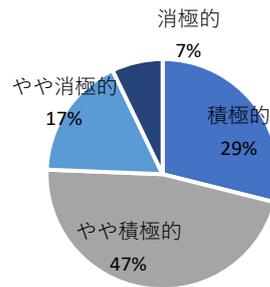


看護学科

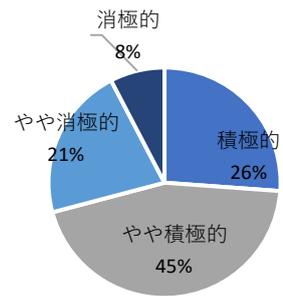


26. 理想的な医師像・看護師像を描くこと

医学科

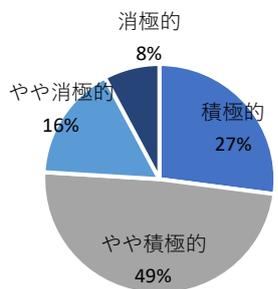


看護学科

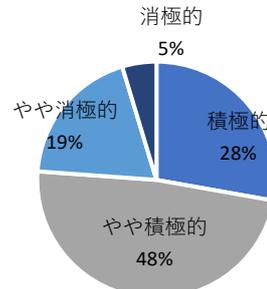


27. 学習を通じて達成感を得ること

医学科

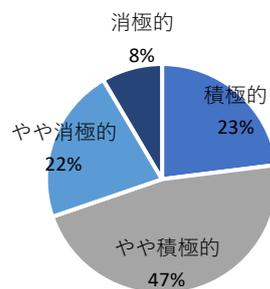


看護学科

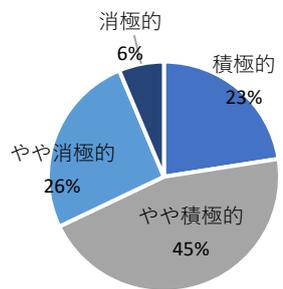


28. 授業を通じて知識に自信を持つこと

医学科

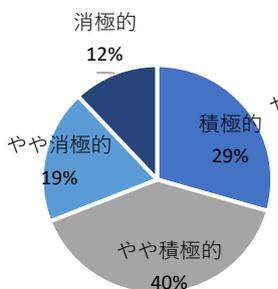


看護学科

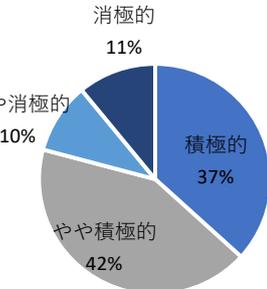


29. 課外活動（ボランティア・部活動・アルバイト等）を通じて達成感を得ること

医学科

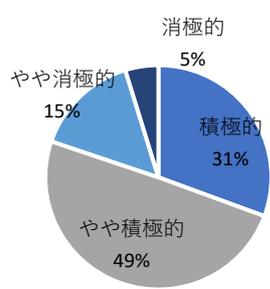


看護学科

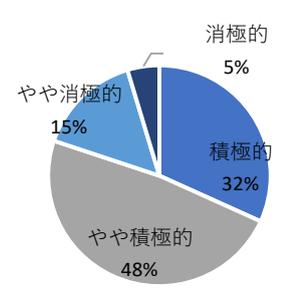


30. 医師・看護師に必要な倫理観を養うこと

医学科

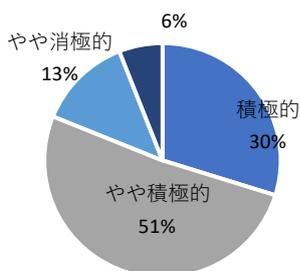


看護学科



31. 実習などを通じて看護技術に自信を持つこと

看護学科



過去一年間の自己学習態度に関する質問の分析

医学科

出席率は、2016年度より出席管理システムを運用しており、2016年第3回目の調査と比較してほぼ同程度であった。個別の学年をみると、前回の調査では、臨床講義を行っている4年生男子と、臨床実習を行っている5年生、6年生の出席率が他学年と比較して低いことが特徴的であったが、今回の調査では、1年生、6年生の男子の出席率が他と比較して低いことが分かった。

学生の約2/3は、主体性をもって自己学習に励んでいた。国家試験対策勉強を行う6年生では割合が高く、低学年になるほど割合が低くなっている。単位取得や進級、卒業のための学習は比較的熱心に行っているが、大学の授業以外の学習に対する取り組みの意欲は低い。

看護学科

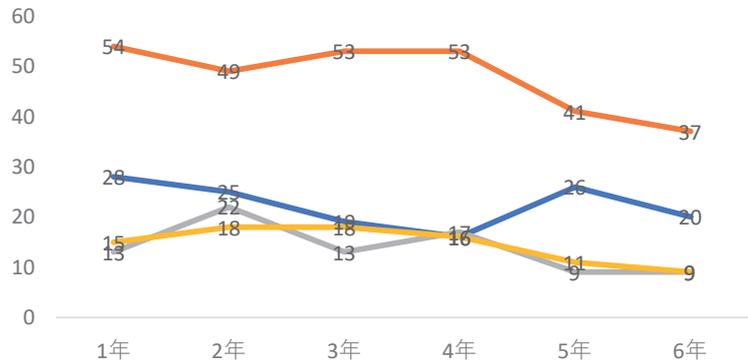
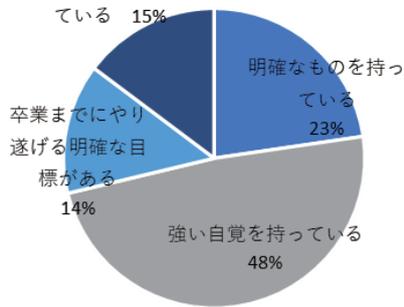
過去1年間の自己学習態度に関する24項目については70%～90%台で満足度が高かった。50%以下の項目は、「専門以外の科目の学習」50%、「医療福祉に関するセミナーへの参加」25%、「長期休暇を利用した自由な学習」32%の3つであった。この結果もコロナ感染症による人流の制限の影響を受けていると思われる。

D. 自覚と目標と展望

1. 医師・看護師としての自覚と目標は持っていますか

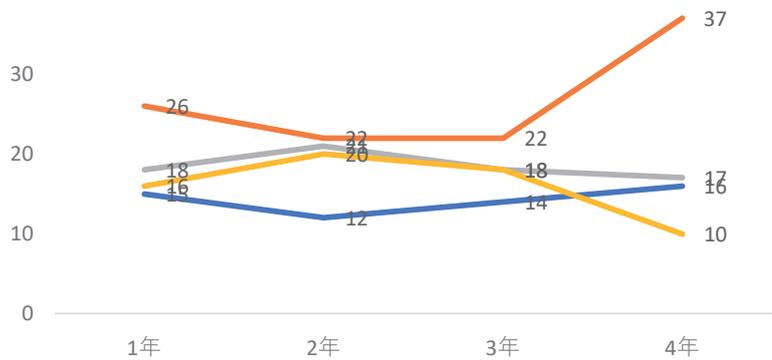
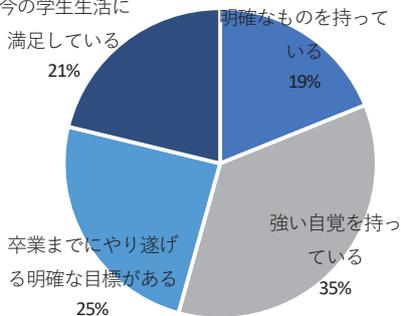
医学科（医師）

今の学生生活に満足し



看護学科（看護師）

今の学生生活に満足している

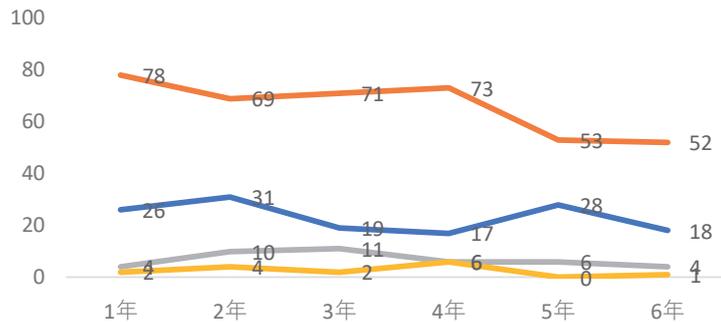
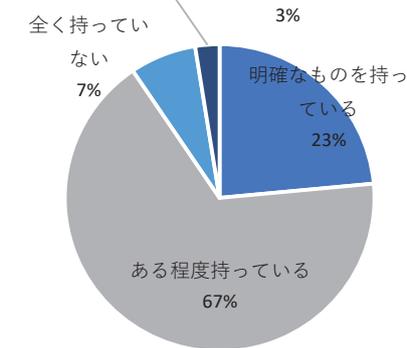


— 明確なものを持っている
— 強い自覚を持っている
— 卒業までにやり遂げる明確な目標がある
— 今の学生生活に満足している

2. 自分になりたいという医師・看護師像をもっていますか

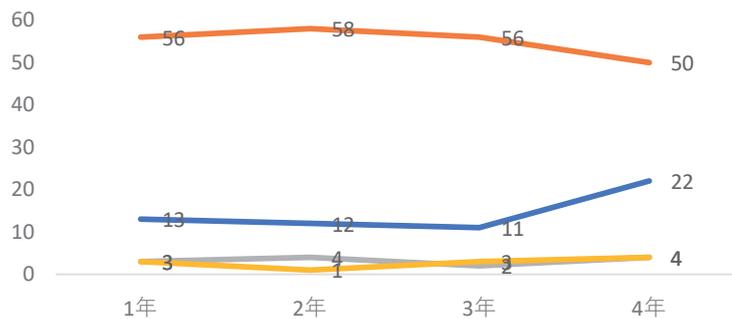
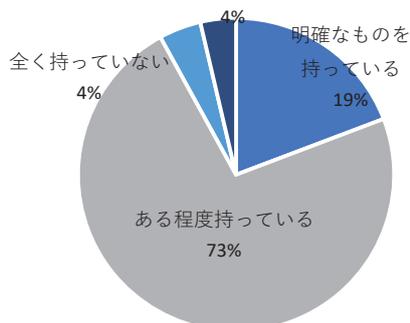
医学科（医師）

考えたことはない



看護学科（看護師）

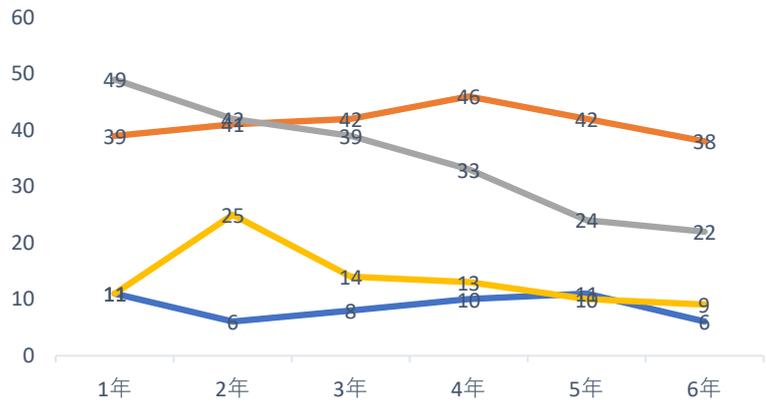
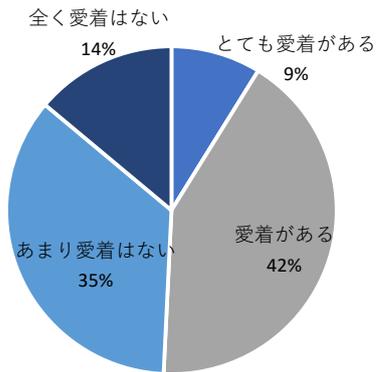
考えたことはない



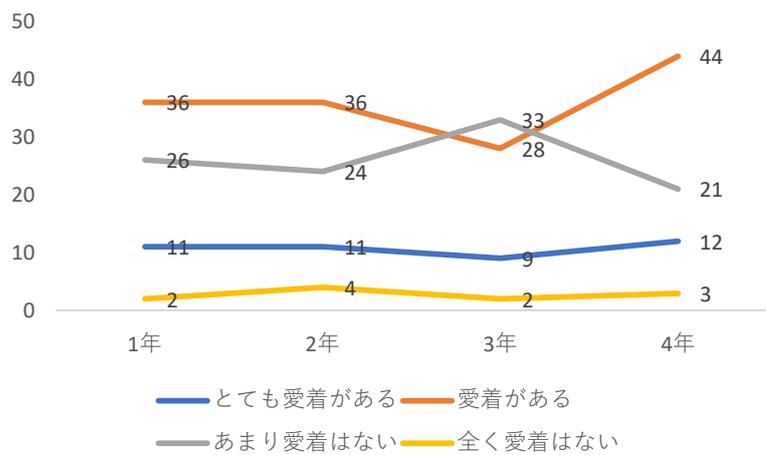
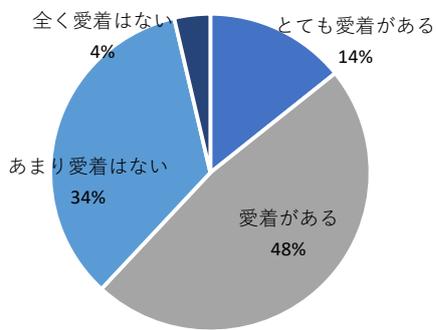
— 明確なものを持っている
— ある程度持っている
— 全く持っていない
— 考えたことはない

3. 奈良医大に愛着がありますか

医学科

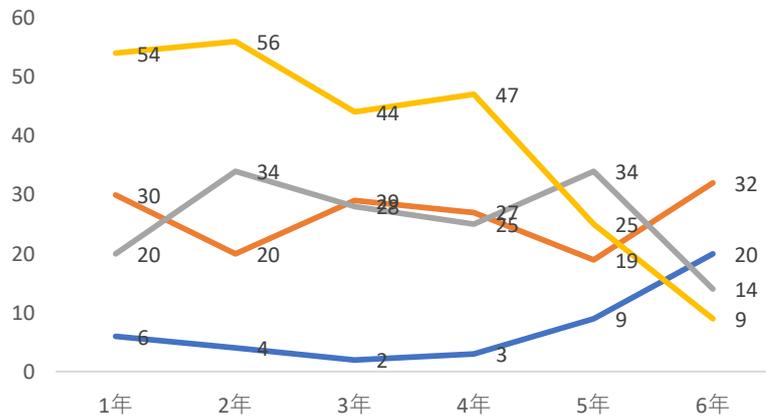
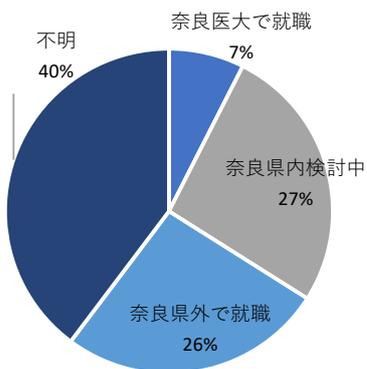


看護学科

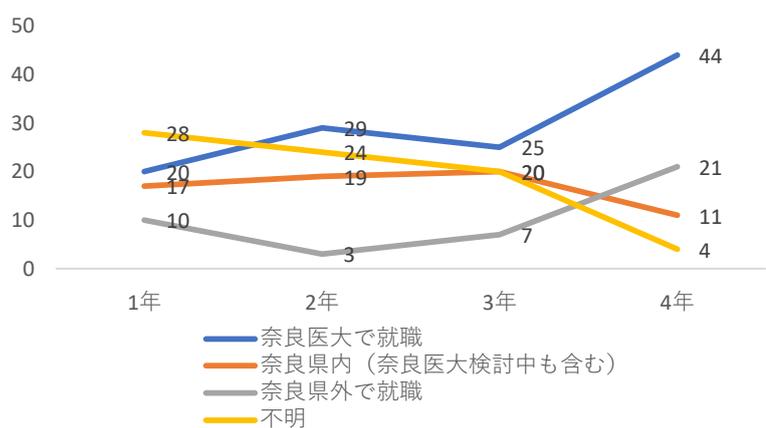
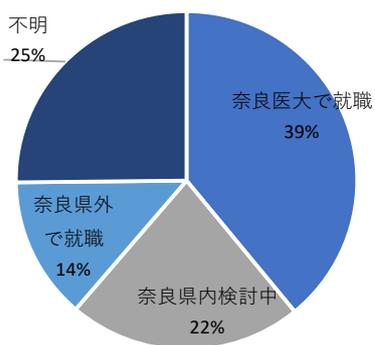


4. 卒業後の就職は、奈良県内だと考えていますか

医学科



看護学科



D. 自覚と目標と展望の分析

医学科

医師としての明確な自覚や目標とする医師像を持っている割合は約 2 割程度であり、前回の調査とほぼ同程度であった。

本学への愛着は学年が進むにつれて高まって 6 年生では 60%に達しているが、前回調査では 70%に達しており、今回 10%程度減少していた。全体での平均は約 50%程度であった。

卒後臨床研修を本学あるいは県内でと考えている割合は男女ともに高学年になるにつれて高まる結果となった。

看護学科

D-1の「看護師としての自覚と目標はもっていますか」の問いの4つの選択肢「明確なものを持っている」、「強い自覚を持っている」、「卒業までにやり遂げる明確な目標がある」、「今の学生生活に満足している」は、独立して回答してもらい学年の推移を観察すべき問いである。今回は4肢から1肢を選ぶ形式で問うたために学年進行による変化が確認できなかった。自分になりたい看護師像を持つ（92%）、奈良医大への愛着がある（62%：2016年63%）、奈良県内で就職を考えている（61%：2016年51%）であった。特に、奈良県内の就職希望が4年生で上昇している。

I. カリキュラム・授業内容、時間割、対面授業と遠隔授業の学生の意見

医学科

1年	対面授業の方が友達と話せるなど、勉強のモチベーションを保ちやすい
1年	遠隔授業の方が課題提出に余裕が持てるので良いと感じている一方、対面では友人とのコミュニケーションがとれるのがよい
1年	対面授業の方がグループでの話し合いがしやすい。対面授業では座席によってスクリーンが見えにくい時があるが、遠隔授業だとその心配がない
1年	対面週は友人と直接話せるのが良い点だと思う。授業に関しては対面でも良いと感じる授業も多いため、遠隔を選べるようにしてほしい
2年	授業后感想を言い合っている中で疑問を持つことが多かったが遠隔だと復習せずにその日を終えるようになった
2年	対面授業の方がやはり集中が持続し、定着度も高い
2年	対面授業では周囲にほかの学生や先生がいるためしっかりしないとという意識が働く
2年	遠隔授業の方が時間を効率的に使える上、授業後に家ですぐに復習が始められるので良いと思う
3年	遠隔授業のほうが、レジュメもはっきり見えるし、先生との質疑応答もしやすい。対面のメリットは友人と顔を合わせる、通学が適度な運動になること
3年	対面授業では、声が聞こえにくかったりということがあった。遠隔では、人との交流が全くなく、少し精神的にしんどいという問題はあった
3年	対面は友達と会えて情報をもらえる機会が増えるのが良い、遠隔はリラックスできるのが良い
3年	遠隔授業のほうが自分で調べながら授業を受けやすいので良い
4年	対面講義は遠隔講義と比べて質問しやすい環境であり、しかも専門の医師から授業を受けているという実感を持つことができる
4年	対面授業と遠隔授業で、あまり差は感じない
4年	遠隔授業の方が対面授業に比べ、主体的に取り組める。対面授業は、先生とコミュニケーションを取りやすい
5年	対面授業の方が記憶に残りやすい
5年	対面ポリクリは患者さんと直に関わる機会がないので、もっと機会が欲しかった
5年	対面は遠隔に比べて病院内を回る機会が多いので、将来医師になるという自覚が芽生える点が良い
5年	遠隔授業でカメラをオンにしなければいけない機会が多く、少しストレスでした
6年	対面も遠隔も、目標・目的が見えないままなのが困った



看護学科

1年	遠隔授業では、対面授業に比べ授業に関して質問があっても発言しにくい
1年	遠隔授業では気になったことをすぐ調べて深めやすいのでいいと思う。対面授業は遠隔授業よりも楽しく感じる
1年	対面授業はその場で直接質問などが出来たり、友達と話せることは良い点で 遠隔授業は時間を有効的に活用できるが、友達や先生に質問しにくい
2年	対面授業でグループワークのない授業は遠隔授業でのほうが学習しやすい。遠隔授業でのグループワークはやりづらく混乱を招く
2年	遠隔授業では勉強の理解が難しいので、できる限り対面授業を増やしてほしい
2年	遠隔授業の時は、事前と事後学習を十分にする事ができて満足している
2年	対面授業は友達と会って話すことができ、わからないところを確認し合えるところが良い
2年	遠隔授業では分からないところや課題についての質問を友達にすぐすることができず、知識に差が生まれる
2年	遠隔授業でグループワーク課題を進めることが難しい
3年	対面授業は友達と相談できるため、学習を進めやすい。遠隔授業は1人で悩む時間が多くなる
4年	遠隔授業の場合、他の人と話し合いができないので、手探りで課題をしたり実習の記録をしたりすることが多く不安に感じるが多かった
4年	遠隔授業は通学時間を短縮することができる点は良かったですが、友人に相談しにくい点が悪い点だと思う
4年	遠隔だと、技術演習やアセスメントなどの考える幅が狭くなってしまっている気がする

本学の新型コロナウイルス感染症における学習環境の取組

令和2年1月国内初の新型コロナウイルス感染者が確認され、2月、政令により指定感染症及び検疫感染症の指定となり学校保健安全法施行規則が規定する第一種の感染症と見なされることとなった。

これを受け、本学では3月より対面授業を中止し、教務システムを活用したオンデマンド型授業に変更、4月からは全学生の来学を禁止するとともに、すべての授業を遠隔授業に変更した。5月末で緊急事態宣言が解除されたことにより、6月から週ごとに来学する学年を絞り、分散型で対面授業を再開した。また看護学科において、対面（学内のみ、病棟不可）での臨地実習を開始した。

これ以降、新型コロナウイルス感染状況を見ながら、引き続き分散型での対面授業で実施している。

対面授業の長所としては友達とのコミュニケーションや実習が可能であること、遠隔授業の長所としては時間の効率性やレジュメの見やすさが挙げられた。個人によって対面・遠隔授業のとらえ方が異なるが、対面授業、遠隔授業それぞれ一長一短との意見が多かった。

Ⅱ. 講義室・実習など関係設備・施設などについての学生の意見

医学科

1年	自習室をもっと充実させてほしい
1年	トイレが汚すぎる。全体的に汚い。はやく新しい建物を作り上げてほしい
1年	講義室の机や椅子にささくれが目立つところは部分的に取り替えてほしい
1年	講義室のエアコンの効き具合が位置によってかなり違う
2年	空調管理ができないのか一部は非常に寒かったりと困るので空調管理はきちんとしてほしい
2年	イスやトイレが汚い
2年	施設や環境自体は問題ないが、大講堂のイスに座ったり、姿勢を変えると大きな音がするものがある
2年	土日に図書館に勉強に行くと、お昼ご飯や晩ご飯を食べる場所がないのでごはんを食べれるところを用意してほしい
3年	あらゆる施設（教室、トイレ、実習室）が数十年前の仕様で古過ぎる。せめてトイレや洗面所はリフォームすべきではないかと思う
3年	図書館の全席に電源がほしいです
4年	空調が講義室の中で効きすぎているところときいていないところがあった
4年	屋根付きの駐輪場を増やしてほしい
5年	図書館 24時間解放にして欲しい。5年生にも自習室が欲しい
5年	空調設備をもう少しよくしてほしい
5年	学生のロッカーは白衣をかけられるくらいの大きさにしてほしい
5年	スキルスラボを全学年に開放して欲しい
6年	学生用の食堂が欲しい。

看護学科

1年	講義室のエアコンの効きが後ろの席と前の席とで違うのがバランスが悪い
1年	講義室の椅子と机が不便。椅子は硬く、長時間座るのに適していない。机はもう少しスペースがほしい
2年	講義室の下の方の席と上の方の席で温度が違う
2年	自習できるスペースを増やしてほしい
2年	病院が近くて実習に行きやすいのはありがたい。図書館が静かで快適なので良く活用している。図書館で飲食できるスペースが欲しい
2年	トイレは基礎医学棟と臨床の棟の衛生環境が良くない。サンタリーボックスはありがたい
2年	基礎技術の手技を十分に練習できる機会があまりなかったため、実習室を自由に使える時間を設ける、血圧計を貸出しするなどを2年生に対してもしてほしい。
2年	椅子が硬く、長時間座るとお尻が痛いためにしんどい
3年	空調が暑いか寒いかになっている。場所によって温度が違いすぎる
4年	講義室は空調がきいておらず寒い時が多い
4年	講義室の椅子が硬くて長時間座っているとお尻が痛い

Ⅲ. アメニティ（Wi-Fi 環境・食堂・コンビニ・トイレなど）についての学生の意見

医学科

1年	学内のコンビニや食堂は学生には少し行きづらいかと思う
1年	テラススペース（休憩スペース）を増やしてほしい
1年	男子トイレの洋式トイレの個数が足りておらず、特に大講堂には洋式トイレが一つもないのもっと洋式トイレの数を増やしてほしい
1年	教養教育棟の女子トイレ（洋式）の数が少ない。大講堂の女子トイレを洋式にして欲しい。
2年	Wi-Fi の強度が弱かったり、メールを受信できないので困ることが多い
2年	食堂は利便性が悪く、安くもないので利用しない。トイレはもっと清潔に、できれば洋式にほしい
2年	Wi-Fi が弱すぎて不便、トイレが臭い
2年	学生同士で勉強できるようなスペースを作って欲しい
3年	Wi-Fi 環境は非常に悪い。校舎内での通話でさえもできない場合がある
3年	図書館の本の版が古いことが多いのと、人気の本は冊数を増やして欲しい
3年	Wi-Fi 環境は安定し、ネットがつながりやすくなったように感じる
3年	基礎棟のトイレの異臭をどうにかしてほしい。消臭剤を置くなどの対処ではなく、根本的解決をお願いしたい。
3年	教養棟の前以外にも外のベンチを増やして欲しい
4年	Wi-Fi がなぜかパソコンでは使えないのですごく不便。 食堂についても昼は医師なども多いため遠慮してしまいがちなので、昼だけでも学生用と職員用で分けて欲しい
4年	Wi-Fi が途切れやすく、時々不便さを感じるので改善してほしい
5年	トイレの和式を全て洋式にすべきだと感じている
5年	学生用食堂があると便利
5年	Wi-Fi が弱くて遠隔授業を大学で受けると映像や音声途切れることがたまにある
6年	学生専用の食堂が欲しい
6年	Wi-Fi が1時間に1回繋ぎ直さなければならないのをなんとかしてほしい。

看護学科

1年	食堂が利用しにくい
1年	校内の Wi-Fi が弱い
1年	場所によってトイレの清潔具合が異なるのは気になる
1年	先輩が女子トイレに設置してくださってる、生理用品がとてもしっかり組みだと思ます！
2年	Wi-Fi がつながりにくい。コンビニが遠い。食堂が遠い。特にトイレが汚すぎる。
2年	食堂を利用しにくい。コンビニが遠い。購買でもいいから学校内に作って欲しい。トイレが汚すぎるし、臭すぎる
2年	女子の人数に対してトイレの数が少なく休み時間中にトイレに行けないことがある
2年	学内で Wi-Fi を使うことができるのは嬉しいが、たまにうまくつながらないことがある。トイレはきれいなところとそうでない所の差が激しいと感じる
2年	ハンドソープが置いていないトイレもあるため、すべてのトイレに設置してほしい
3年	食堂は学生が気軽に使えない、学生専用のものか学内にコンビニがあればいいのと思う
3年	臨床講義室の女子トイレの音姫を修理して欲しい
4年	学生用の食堂が欲しい

IV. その他

医学科

1年	自宅学習をすることが多いので、TEAMS を利用したオンライン系の自習室があれば嬉しい
2年	対外試合を含めて部活動ができるようにしてほしい
3年	個人の学生が教授に聞いても取り合ってもらえないことが多く、学生の声を教室に届けられる中間者がいてほしい
4年	大多数の学生はスマホやタブレットを所有しているので、学生便覧と教育要項を配布するのは pdf で良い
4年	研究している際、学校から無料アクセスできる文献（海外ジャーナル）が少ない
5年	インフルエンザの予防接種を学生も大学で受けられるようにしてほしい。
5年	図書館を 24 時間空けてほしい。基礎系の論文をより多く読めるようにしてほしい

看護学科

1年	部活動が少し楽しみ
2年	アドバイザーの先生によっては定期的に面談があるグループもあれば、1年生の時から一度も話したことがないところもある
2年	アドバイザー制度があると言いながら担当の先生に会ったこともない

新キャンパス移転は、建築工事は令和 5 年度後半に着手、令和 6 年度中に完成予定で令和 7 年度中に開校予定をしています。

新キャンパスからは、畝傍山を望むことができ、明るく開放的なリフレッシュ空間を創造します。

図書館は『対話・交流を促進する講堂と知識を深める図書館』を組み合わせることにより、優れた医療人を育てる「知の拠点」とします。

講堂は学会・発表・レセプションなど様々な活動に対応可能なホールとし、可動式座席を備えた 600 人収容の講堂とします。

体育館は一般的な体育施設だけでなく、トレーニングジムやジャグジーなども備え、癒やしの空間も兼ね備えています。

意見として最も多かったトイレ環境については、現在使用中の講義棟は開学当時の建物もあり、使用頻度の高い講義棟から順に和式から洋式へと改修済ですが、コロナ禍で大講堂などの未改修の建物での講義が余儀なくされました。さらなる改修の実現は難しいので、ハンドソープや消臭剤の設置などで快適に使用できるよう対応します。

学生アメニティ整備実績（過去5年）

学生参画のキャンパスミーティングで意見、要望が多かったアメニティ関係について、可能な限り設置等しています。

整備年度	主な整備内容
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーターディスペンサー（教養教育棟、冷水・湯 各1台） ・トイレ個室内棚の設置 （教養教育棟、基礎医学棟、臨床講義棟、大講堂） ・Wi-Fi 対応コピー機（看護学科棟および基礎医学棟（弘済会））
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・看護学科 更衣ロッカーの更新（ダイヤルロック式 90台） ・ダイヤルロック式傘立て （教養・基礎・臨床・看護学科棟 各2台） ・屋外テーブル・椅子の追加設置 （大学本館裏・看護学科棟前 各5セット） ・電気ポット（教養教育棟 学生ホール1台） （※臨床男子更衣室姿見（卒業生寄贈品））
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・傘立て（教養・基礎・臨床・体育館） ・ソファ更新（看護学科棟 学生ホール）
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・AED（自動体外式除細動器）の更新（5台） ・コンセント増設（看護学科棟 学生ホール）
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・女子トイレ音姫設置

学生支援委員会

令和3年4月1日現在

	氏名	所属	職
委員長	石指 宏通	保健体育	教育教授
副委員長	城島 哲子	公衆衛生看護学	教授
	粕田 承吾	法医学	教授
	若月 幸平	教育開発 以外	教育教授
	牧之段 学	精神医学	准教授
	升田 茂章	成人慢性期看護学	講師
	長田 艶子	成人急性期看護学	講師
	小代 仁美	小児看護学	講師
	裏山 悟司	生物学	助教
	吉田 純子	生理学第二	助教
事務局	教育支援課		

奈良県立医科大学

〒634-8521

奈良県橿原市四条町840番地

TEL 0744-22-3051

<https://www.naramed-u.ac.jp/>



奈良県立医科大学

Nara Medical University